

2023 年度 第 1 回理事会 議事録 2023.6.15

日時：2023 年 6 月 15 日（木）19：00～21：07

開催方式：ハイブリッド開催（現地＋オンライン）

場所：現地）神奈川県横浜市中区真砂町 3-33 商業ビル「セルテ」8 階 801 会議室
オンライン）自宅または職場

現地出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（副会長）、玖島弘規（事務局長）、望月強併、
佐藤隼、遠藤陵晃、澤口勇、山勢健太郎、青木啓一郎（10 名）

オンライン出席理事：佐々木秀一、野本義則、神田崇央、佐藤範明、神保洋平、金山桂、和田尚（7 名）

出席監事：野々垣睦美（1 名）

欠席理事：奥原孝幸（1 名）

欠席監事：錠内広之（1 名）

その他出席：池田公平（選挙管理委員会 委員長）、兵頭夏海（事務局部員）、薄井文香（事務局部員）

I. 会長より挨拶

今年度初めての理事会がハイブリッド開催となり環境も整った中で行うことができ嬉しく思います。今年度も皆様の力で1つのものを作り上げて行けたらと思います。先日の臨時理事会でも伝えましたが、連携がキーワードになってくると思います。まずは事務局機能を強化していきたいと思っております。皆様に協力を頂いて事務局機能を支えて頂けたらと思います。また OT 協会の社員総会でも意見交換がありましたが、地域共生社会を見越し OT 協会も組織改編を進めていくようです。我々も組織改編を進め、来年度は新しい体制を目指したいと思います。その他にも OT 協会理事に神奈川県から高橋香代子さんが就任することになりました。会長は山本伸一さんです。OT 協会の理事体制も大きく変わり新たな理事構成となりました。当会もここにいる理事の皆で善い組織作りを目指したいと思っておりますので宜しく願いいたします。

II. トピックス

1. 2023 年度役員選挙振り返りと代議員選挙スケジュールについて（池田選挙管理委員長・金山理事）

役員選挙の振り返りと次回代議員選挙に向けたスケジュールについて説明。役員選挙での良かった点としては、立候補届けと手続きを事務局と連携して行うことで円滑に行うことができた。改善点としては、選挙期間が短かった為、代議員選挙では1ヶ月くらい余裕を持って募集したい。また立候補者の公表が理事会での公表となったことで推薦候補の検討が遅れてしまった。立候補者の公表について事前にお知らせできると準備する時間も取れるためタイミングについては検討していく。

代議員選挙のスケジュールについて資料を用いて説明。2023 年 12 月末までに候補者を募り、年明けから年度末にかけて代議員を決定していきたい。流れとしては、10 月に代議員定数の確定、11 月に選挙公示、12 月に選挙候補届の受付開始、1 月にかけて立候補者が定数に満たない場合は推薦候補者を募っていく。

III. 報告事項（各部署・理事・三役）

【各部署】

1. 事務局

(1) 事務局員の退職について

事務局員 1 名退職（6/23 最終出勤日）。現在、事務局員 2 名に引き継ぎを実施中。

今後、必要な箇所に対しては専門家の導入を検討。

(2)X ドライブへの資料アップについて

現在は各自で削除できない設定となっているが今後変更していく。

→ (澤口理事) 神奈川県や日本作業療法士会から情報発信がされているがどのように対応しているのか。また神奈川県から地城医療介護総合確保促進法に基づく意見募集についてメールで共有されているが県士会としてどのように取り扱いをしていくのか。

(吉本副会長) 神奈川県や日本作業療法士協会からの情報は事務局に連絡が来るようになってきている。事務局局長と副会長の方から理事メールで全て周知させて頂くことになっている。必要な情報はホームページに掲載し、会員への意見募集など協力を募っていく。速やかに情報は共有できるようにしていく。

(遠藤理事) 県からの依頼メールが流れているかと思うが神奈川県作業療法士会として意見をまとめて県に提出するのかどうか。提出締め切りが7月末までのため、神奈川県作業療法士会として期日を決めて意見募集を行った方が良いかと思うので検討をお願いしたい。

(吉本副会長) 県士会として理事の方には期日を決めて意見をとりまとめていく。会員の意見募集に関しても周知を行い、とりまとめた上で提出していく。

2. 福利部

(1)新入会員オリエンテーションについて

参加予定の理事の方は部の紹介を1～2分程度でお願いしたい。オリエンテーションの広報をSNS、県士会ホームページでアナウンスしていく。

3. 教育部 MTDLP 推進委員会

(1)協会教育部障害教育委員会 生涯教育制度推進担当者について

教育部担当理事の変更に伴い、神保洋平理事へ変更する。

(2)協会養成教育委員会 臨床実習指導者講習会担当者について

教育部担当理事の変更に伴い、神保洋平理事へ変更する。

(3)協会 MTDLP 推進担当者について

MTDLP 推進委員会担当理事の変更に伴い、奥原理事へ変更する。

4. 広報部

(1)映画「明日香に生きる」の周知依頼について

県士会ホームページ、LINE、フェイスブック等でアナウンスしていく。広報の協力をお願いします。

5. 学会評議委員会

(1)第19回神奈川県作業療法学会について

県士会会員の参加費を変更。会員は一律無料とし、非会員は3000円に設定した。会員の参加を無料にすることで入会促進を図っていきたい。

(2)第6回神奈川県臨床作業療法大会について

大会長は鶴巻温泉病院木村達氏、実行委員長は鶴巻温泉病院内原基成氏に決定した。

6. エリア化推進委員会

(1)コネクトミーティングについて

ZOOMのオンラインで開催。今年度もテーマ別に3回実施予定(6月、11月、3月)。

またエリアミーティングも進めていく。県内エリア(横浜、川崎、相模原、県西地区(足柄、小田原)、県央地区(厚木座間)、横須賀三浦、湘南西部、湘南東部の8エリアごとでZOOMミーティング開催予定。

7月横浜、8月県央、9月川崎、10月横須賀三浦、11月湘南東部、12月県西、1月相模原、2月湘南西部を予定している。1時間のミーティングでグループ別と全体での話し合いを進めていく予定。

→(神保会長) エリアミーティングの詳細日程が決まったら参加を検討していくので連絡をお願いしたい。

7. 学術部

研究助成事業が募集開始。今年から新企画で研究助成班による研修会を行い、20名の参加があった。新入会員オリエンテーションの前に学術部で研修会を行う。講師は北里大学病院の中井先生。各施設、新人さんがいれば参加を促して頂きたい。また同日の午後に精神領域の研修会を開催予定となっている。

→(澤口理事) 精神保健福祉法があるが、来年4月に改定予定になっている。患者虐待を見たら通報しなければいけない。県士会でも研修会を開催できないか。

(佐々木理事) 企画は部員が主体となって検討計画している。意見を参考に部内で検討していく。

8. 規約委員会

事務部門の効率化を進めていく。

9. ウェブサイト管理委員会

会員や学生、地域の方への情報発信においてメディアツールを使用して行っていく。ホームページに2023年度の事業計画や部員名簿を掲載するので原稿の作成を依頼させて頂く。

10. 教育部

教育部の部員を集めている。まずは臨床実習指導者研修会の日程を決定していく予定。

11. 制度対策部

情報発信として、県士会ホームページに社会保障制度関連、福祉用具関連、災害対策関連、自動車運転関連について掲載しているのでご確認頂きたい。今年度の研修会予定として、社会保障制度関連1回、福祉用具関連2回、自動車運転支援関連2回を予定している。また今季も9月に安否確認システムを実施予定。日本作業療法士会の安否確認システムについても情報発信していく。2024年のトリプル改定を見据えて制度対策部としても動いていく。認知症に関する情報発信も合わせて行っていく。

12. 認知症対策委員会

神奈川県のアルツハイマーイベントにも参加しているため、ネットワークを活用しながら作業療法士との繋がりを作っていきたい。アルツハイマーイベントの情報発信していく。

13. 地域リハビリテーション部・地域包括ケア推進委員会

2023年度第1回地域事業支援会議(旧地域支援事業への参画推進のための研修会)6月23日19:00~21:00 オンライン開催(Zoom)に参加予定。

神奈川県から市町村介護予防事業支援のための人材育成事業の依頼が来ている。神奈川県の高齢福祉課との繋がりも継続していく。

地域リハビリテーション三団体協議会。訪問リハ実務者研修会実施予定。神奈川県高齢福祉課より介護医療予防従事者普及展開アドバイザーを県のアドバイザーとして委託して実施していく。各町村から依頼が来ているため必要に応じて理事と共有して会員にも協力を依頼していく。

地域包括ケア推進委員会については、引き続き西川理事と共有して理事会で報告していく。

14. 財務部

事務局員の退職に伴い、最終日までにカードと通帳を会計担当者の方に送付予定。また今年度も会計説明会を実施予定。日程が決まり次第連絡する。

15. 公益法人化対策委員会

今年度中に本会の公益法人化に関する方針を明確にしたい。理事に対してアンケートを行い、現時点での意見を募っていく。

【理事・三役】

1. 澤口理事より

(1) リハ手帳(仮称)PTOTST 合同会議 モニタリングのお知らせ・進捗についての報告

PTOTST 士会会長会議にて合同でリハ手帳を普及していきたいという話があった。6月に各施設へ送付、7月から半年間をモニタリング期間として設ける予定。患者さまとリハビリがどのように関わっているかをアピールするためにまずは紙媒体のリハビリ手帳を普及させ、将来的にはクラウド化を検討する予定。OTではADLの評価、参加と活動の項目を組み込んだ。今後どのように活用していくか検討予定となっている。

2. 田中理事・神保会長

(1) 第1回協会長・士会長 48 団体連携協議会(よんぱち)の報告について

当県士会からは田中副会長と神保会長が委員として参加した。山本会長の挨拶で会が始まり、協会の組織改編や委員会の説明、協会がどのような意図でどのような委員会を作成し、どのような活動を今後行っていくかについて議論を行った。またグループディスカッションを通し、コロナ禍とアフターコロナに関わる事務局運営のあり方、予算や事業計画アフターコロナ対策について議論を行った。

次回9/9(土)~10(日)ハイブリッド、11/25(土)オンライン、3/9(土)オンラインで開催予定のため、各理事の皆さんの参加も是非お願いしたい。

(神保会長) 国が地域共生社会の実現を推進していることは確かであり、会員確保に早急に尽力するべきである。またトピックスとして会員数減少があがった。会員を増やす取り組みに向けて連合組織をつくってでも会員数増加にむけた意見交換する場があってもよいと考える。

(2) 県士会ロゴマークの活用について

40周年を記念してロゴマークを作成したため、引き続き活用をお願いしたい。

今回は県士会の封筒、理事会の名刺にロゴマークを入れている。継続理事はシールを貼って対応していただき今回新たに理事となった方は事務局に名刺の作成申請依頼をして頂きたい。また県士会のパンフレットに掲載する際はロゴマークを必須で入れて頂くようお願いしたい。

→ (佐藤理事) ロゴマークをどのように活用するかは広報部で検討する解釈でよいか。

→ (田中副会長) 引き続き今まで通りの活用を含め、新人教育プログラムの資料に入れるなど多くの人の目に触れる機会を増やして頂きたい。

IV. 審議事項

1. 後援申請 第8回多職種リハビリ勉強会 2023.10.14 (事務局)

(澤口理事) OTが講師にいないが、どなたか出席したほうがよいのではないか。

(吉本理事) 地域リハビリテーション分野でも活躍されている著名な講師が多数出席を予定している。ぜひこの機会に広く参加いただきたい

→ 賛成多数で承認

2. 後援申請 福祉を創る学校 2023.9.17 (事務局)

→ 賛成対数で承認

3. 強制退会からの復会希望 古屋 陣氏(北小田原病院) (事務局)

→ 賛成多数で承認

4. 部員承認(全部署一括審議) (事務局)

→ 賛成多数で承認

今回、協会員ではない部員も申請可としているが、今後協会員=士会員を推進する上でも書く担当理事から協会への入会を促して頂きたい。

5. 賛助会員 B 入会申請 イワツキ株式会社 相模原営業所様（事務局）

→賛成多数で承認

6. 研究助成事業について（学術部）

1) 研究助成事業概要の変更（第5版）について

現在は換金性の高い物品（パソコン、タブレット型コンピュータ、デジタルビデオカメラ、ビデオ、録画機器など）は、研究費で購入したことを明示し（シール貼付）、物品がわかるよう記録および管理する。研究終了後は県土会へ原則3年で返納することとなっている。

改定後は、研究終了後、不要時は県土会に返却する。また継続して使用する場合、換金は禁止とし、耐用年数以降は研究代表者が責任を持って処分することとする。

（吉本理事）現物確認をどのように行うか。私物になった際の個人情報の管理はどうするか。

（佐々木理事）現物確認は写真にて確認を行い、個人情報の管理については同意書をとる方向で検討している。今後部員とも検討していく。

→賛成多数で承認

2) 成果の公表 学術誌への投稿について

現在は、研究結果を「神奈川作業療法研究」への投稿を義務としている。改定後は投稿場所を「神奈川作業療法研究または作業療法」と変更したい。

（田中副会長）成果の公表について、今後「神奈川作業療法研究または作業療法」になることで「神奈川作業療法研究」への投稿の場合も神奈川県の研究事業だという記載はあるのか。

（佐々木理事）謝辞の欄で記載する。

→賛成多数で承認

3) 各種提出書類の印鑑について

現在は印鑑使用となっているが、印鑑レスも進んできており、改定後は印鑑不要としたい。

→賛成多数で承認

4) 2022 年度研究助成事業対象者の研究期間の延長について

（遠藤理事）研究延長とは、助成金も追加で延長なのか。

（佐々木理事）予算は変更なし、予算使用期間の延長の解釈でよい。

→賛成多数で承認

7. 日本作業療法士協会 代議員選挙運営委員の推薦について（金山理事）

池田公平氏（神奈川県立保健福祉大学）

→賛成多数で承認

V. 提案事項（各部署・理事・三役）

1. 当会の公益法人化に関する理事へのアンケートについて（公益法人化対策委員会）

今年度中に本会の公益法人化に関する方針を明確にしたい。理事に対してアンケートを行い、現時点での意見を募っていく。

2. 選挙の振り返りに関する理事へのアンケートについて

以前より選挙の振り返りが課題となっていた。今回の三役互選方法について振り返りを行いたいと考えている。今期の選挙に関することはどの部署が、誰が主となるのかご検討頂きたい。

3. 今後の選挙管理委員会との連携担当について

役員選挙の際に選挙管理委員とやりとりを行う連携理事を担っていただける方を募集したい。

まずは田中副会長より前回選挙ワーキングを担当していた金山理事を連携理事として推薦したい。

1名ではなく、複数名の理事で担っていただきたいため、改めて担っていただける理事は田中副会長までメールでお知らせ願いたい。

6. 当会の謝金規定に関する理事へのアンケートについて

謝金の変更について、変更の有無や代替え案等、理事の皆さんから意見を募りたい。

今後アンケートを実施していく。6月理事会後、理事メールにてアンケートを依頼し、意見を取りまとめる。

結果により規約とのすり合わせや検討、次回または次々回理事会で報告と審議を予定。

5. 会長より提案に対する回答

理事会運営委員会について、会員増に対する当会の取り組みについて、協会員=士会員について

1) 理事会運営委員会について

理事会運営において3役に役割が集約されすぎている。役割の調整や相談を行う部署があってもよいか。

数年前は企画調整委員があったようだが、理事会であがってくる議案だけでなく、理事会が会員の議案を吸い上げるイメージで動いていく必要がある。

2) 会員増に対する取り組みについて

会員を増やすためオリジナリティーのある案を募りたい。まずは神保会長が中心となり戦略を練り、ガントチャートを作成して理事の皆さんへ協力を仰ぎたい。

3) 協会員=士会員について

18の県士会が提携を結んでいない状況。神奈川県士会では先日の社員総会にて承認を得た。その旨を6月1日付で日本作業療法士会に回答している。今後、合意書として契約を結んでいく。県士会会員にも県士会ニュース等で掲載し、啓発していく。

VI. 【その他連絡事項】

・神保会長

県士会ホームページにおいて4カ年計画を掲載している。改めて掲載するにあたり、理事のみなさんへ確認をお願いしたい。

・玖島事務局長

理事会・三役会の年間スケジュールを配信しているため、各自確認頂き、出席できるよう調整をお願いしたい。

VII. 【監事より】

・野々垣監査

理事会お疲れさまでした。理事の交代があり、担当部署も大きく変わったと思います。事業が円滑に進められるよう情報共有を行い、より良い方向に進むよう変化していきましょう。引き続き理事会の運営方法等検討していけたらと思います。

VIII. 【その他】

・神保洋平理事

メーリングリストに情報が多すぎるため処理しきれないように感じる。スラック等のツールを導入してはどうか。

→（玖島事務局長）情報共有のツールについてはメリットやデメリット、予算等も含めて検討していきたい。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	吉本 雅一	印
	理事：	玖島 弘規	印
	監事：	野々垣 睦美	印